

お染久松の野崎観音から飯盛山城跡を訪ねる

大阪と奈良を隔てるように、TVアンテナが林立する信貴・生駒山脈が横たわっている。

その北端に優しい稜線の飯盛山、標高は314mだが、摂津、河内を望む要衝の地で、山頂一帯には曲輪、土塁、堀切などの遺構が残され、16世紀に三好長慶が居城とした飯盛山城跡がある。

燦歩会の9月例会は、この飯盛山へのハイキング。14名の参加者は、JR学研都市線の野崎駅を出発、人形浄瑠璃や落語でなじみの野崎観音、福聚山慈眼寺をめざす。暫くしていきなり百段超の石段、のどかな野崎詣りを想像できないきつい登りである。慈眼寺本堂の軒裏には、「お染久松」の恋物語にあやかっか、張りぼての犬の安産祈願の奉納札がぎっしり下げられていた。



一息いれて、飯盛山をめざす。登り始めの七曲りは汗をかきかき、どんぐりの実とそのはかまが散在した道を踏みしめる。暫くすると湿気も払われ、心地よい風に癒される尾根歩きとなった。突然、林が途切れ、目の前に鉄塔を冠した白い建物が現れる。NHK大阪のFM基幹放送所である。一同、ここから番組を視聴者に届けていたのかと懐かしい気持ちになる。

この場所は、飯盛山城跡の千畳敷で、少し歩を進めると山頂の本郭跡地に到達する。ここでようやく視界が開き、青空と秋雲の中に摂津、河内平野が一望できる。遠くに目線をやると淡路島から六甲山、北摂の山々が霞み、第2京阪道が走り、花博会場だった鶴見緑地も足元に見渡せる。拡がる平野の南方にはあべのハルカスビルが聳え、西にはWTCビル、北寄りには大阪駅付近のビル群が連なるなか、真正面にBK会館とOBPの間に埋もれる大阪城が辛うじて確認できる。



この飯盛山城の本郭には、大きな台座の上に楠木正行の立像が建てられている。正行は南北朝時代に南朝方の武将として奮闘し、この地、四条畷(縄手)の戦いで没したが、小楠公と称され、台座には「忠考両全」と記されている。

山上を後にし、咲き始めた金木犀の香りを感じながら、市の水道の元ともなった権現川沿いを一気に下り、正行を祀った別格官幣社四条畷神社に到着する。その静かな佇まいに包まれ、愛と戦いに想いを馳せて、例会を無事に終えることができた。



* * * * *

燦歩会では入念な下見を行い、中途離脱も可能なルートを設定して、毎月第4日曜日に歩いています。
メンバーはおよそ50名、その日の都合と体調に合わせて自由参加です。
(切符や食事の予約が必要な例会も時々あります)

今後の予定です。多くの方の参加をお持ちしています。お試し歓迎です。
10月 秋の白山白川郷ホワイトロード(白山スーパー林道)(1泊2日)
11月 紅葉の根来寺(和歌山)
(12月 納会)
1月 近江神宮(滋賀 初詣)
2月 北野天神から御土居を歩く(京都)
3月 高安山から信貴山へ(大阪~奈良)

参加ご希望の方は、山村恵一まで連絡ください。(0743-20-4159)
一緒に歩きましょう。(近畿旧友会 山村恵一)